

目次・主な内容

■ 三重経協 News

2

■ 新会員の紹介・れんらく・つうしん

9

■ 三重労働局 News

8

■ 業務日誌

10

協会事業活動報告

第71回三重労使会議報告書



挨拶する小倉会長

2月15日(木)プラザ洞津 2階「高砂の間」にて、第71回三重労使会議を経営者側12名、労働者側14名の出席者で開催しました。

最初に三重県経営者協会 小倉会長、連合三重 番条会長より挨拶がありました。

小倉会長より冒頭、次のとおり挨拶がありました。

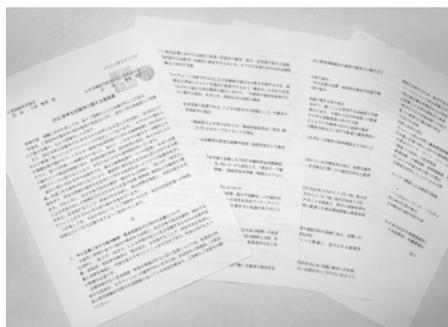
元旦から能登半島地震が発生し、1ヶ月以上が過ぎた今も多くのの方が避難所生活や他地域への疎開を余儀なくされています。各地から被災地において復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、被災地の皆さまの一日も早い復興をお祈り申し上げる次第であります。

国内の経済状況に目を向けますと、日経平均の株価上昇がそれを象徴するかの様に社会経済活動もコロナ禍から本格的に正常化してまいりました。しかしながらその一方で、社会の様相や人々の価値観はコロナ禍前に戻るのではなく大きく変化しています。急速なデジタル化の進行やAIの進化等に伴う社会変容が進み、人手不足が大きい問題、大きい経営課題となってまいりました。

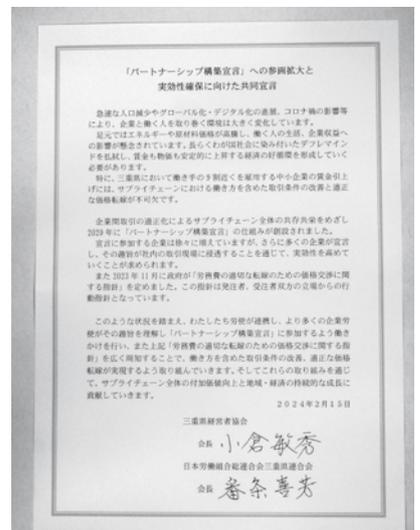
このような社会の変革期を迎える中での本年春季労使交渉が始まります。昨年の春季労使交渉は急激な物価上昇の下で行われたこともあり、30年ぶりとなる高い月例賃金の引き上げを記録し、「構造的な賃金引上げ」実現に向けた転換の年となりました。今年は、「昨年以上の賃上げありき」と強調されるのを感じますが、各企業には「賃金決定の大原則」にのっとり「物価動向」を特に重視した検討を行い、物価に負けない賃金上昇をどうしていくか多様な方法による対応をお願いしたいと思います。その際、自社の賃金水準を踏まえ、自社の事情に合わせてベースアップ本来の目的や役割を労使で改めて議論することが有益であると考えます。最近は大手の高い賃上げばかりが賑わっていますが、働き手の7割近く(三重は9割)を雇用する県内中小企業においては、政府・自治体の様々な支援策も活用しながら、自社の生産性向上に取り組み、賃金引上げ原資を確保し、それを増加していくことが望まれます。大手企業には、「パートナーシップ構築宣言」への参画を求めるとともに、その実効性の確保に一層取り組み、また、大手には中小の企業における取組みを継続的に支援していく必要があります。昨年11月には政府・公正取引委員会より「労務費の適正な転換のための価格交渉に関する指針」も定められ、取引条件の改善と適正な価格転嫁を図るための環境が徐々に整いつつあります。その後押しをする為にも、本日この後、労使で共同宣言を行う予定をしています。さらに働き方に目を向けますと、様々な働き方改革も進めていかなければなりません。男性の育児休暇取得を含む育児と仕事の両立や、三重県では男女の賃金格差が大きいですが、女性活躍の推進、また、その他にもコロナ禍で必要性がさらに高まったテレワークやデジタル化の推進、2050年カーボンニュートラル実現とSDGsへの取り組みなど、労使一丸となって推進すべきことが目白押しです。その為、労使でこれまで以上にしっかりと協議していく必要を強く感じているところであります。との内容でした。

その後、連合三重側より経営者協会に対し「2024春季生活闘争に関する要請書」が提出されました。

また、連合三重 藤田事務局長より「パートナーシップ構築宣言」へ



2024春季生活闘争要請書



「パートナーシップ構築宣言」

の参画拡大と実効性確保に向けた共同宣言（案）についての説明があり、両会長による署名で、締結致しました。

次に、労使協働事業報告として、三重労使雇用支援機構の役員変更、高齢者及び事業所向けセミナー業務、働きやすい職場応援セミナーについて報告が行われました。

(内容)

1. 開会

- ・司会 三重県経営者協会 中村事務局次長
- ・挨拶 三重県経営者協会 小倉会長
連合三重 番条会長

2. 連合三重「2024 春季生活闘争に関する要請書」の提出

3. 「パートナーシップ構築宣言」への参画拡大と実効性確保に向けた共同宣言（案）について

4. 2024 年春季労使交渉について

- ・連合三重の取組み
- ・経営側の取組み

5. 労使協働事業関係

- ・三重労使雇用支援機構活動報告
- ①三重労使雇用支援機構役員変更について
- ②高齢者及び事業所向けセミナー業務について
- ③働きやすい職場づくり応援セミナー

6. 労使セミナー

「2024 年三重県経済の展望」

株式会社百五総合研究所 代表取締役社長 海住 禎人氏



講演する海住氏

7. その他

2024 年 9 月の予定 幹事は連合三重

8. 昼食懇談会



小倉会長(右)に要請書を手渡す
連合三重番条会長(左)



パートナーシップ構築宣言を締結



第71回三重労使会議風景

労管定例会議&2024年春季労使交渉セミナー

2月27日(火)プラザ洞津3階「孔雀の間」において、労務管理改善協力委員会定例会議並びに、労管実務セミナーとして「2024年春季労使交渉セミナー」を開催しました。

当日は、定例会議18名、労管実務セミナーには23名の参加がありました。

市川労管会長(中部電力パワーグリッド(株)三重支社 総務部人事グループ長)の挨拶に続いて、事務局より常任幹事・委員・部員変更の報告があり、その後、定例会・共通部会、第1部会、第2部会の発足以降の活動報告を行いました。



挨拶する市川労管会長

定例会議終了後、引き続き同会場で「2024年春季労使交渉セミナー」を開催しました。

(一社)日本経済団体連合会 労働政策本部 統括主幹 平田 充 氏より『2024年労使交渉対応の考え方と具体策』をテーマに、2024年版「経営労働政策委員会報告」～デフレ完全脱却に向けた「成長と分配の好循環」の加速～を基に、経団連の十倉会長の考え・思いについて説明されました。



講演する平田氏

第1部として、「構造的な賃金引上げ」の実現に不可欠な生産性の改善・向上として、

- ①「働き方改革」と「DE&I」のさらなる推進による生産性の改善・向上
- ②「円滑な労働移動」の推進による生産性の改善・向上
- ③人口減少下における労働力問題への対応
- ④生産性の改善・向上による地元経済の活性化
- ⑤法定最低賃金に関する考え方

第2部として2024年春季労使交渉・協議における経営側の基本スタンスとして

- ①2023年春季労使交渉・協議の総括
- ②わが国企業を取り巻く経営環境
- ③連合「2024春季生活闘争方針」への見解
- ④2024年春季労使交渉・協議における経営側の基本スタンスについて

を説明していただきました。また、今回のセミナーは例年にない何かと話題の多い中での開催で、参加者の方々が真剣な眼差しで聞き入っているセミナーでありました。



労管定例会風景



春季労使交渉セミナー風景

令和5年度みえ・花しょうぶサミット

2月1日(木)皇學館大学 7号館1階711教室において、「令和5年度みえ・花しょうぶサミット」を開催、団体22名、学生53名の計75名の参加者でした。今回は皇學館大学と協働し、皇學館大学生も参加しました。昨年に引き続き、高等教育機関と6団体の女性代表者及び一般会員と事務局が学生と協働して下記の内容について取り組みました。

学生に各団体の取組内容を理解して頂き、グループワークでは、「若者が働きたくなる三重県創り」をテーマに、就職や働きやすい職場環境づくり等について意見交換されました。各女性団体にとっても普段学生と接する機会が少なく、一緒にグループワークを行う中、学生ならではの意見が聞けて非常に有意義でありました。

主催者挨拶：みえ・花しょうぶサミット代表者 松田 弘子 氏
 (三重県商工会議所女性会連合会 副会長)
 皇學館大学 学長 河野 訓 氏
 皇學館大学 教授 笠原 正嗣 氏
 三重県雇用対策課長 坂井 哲 氏



挨拶する松田代表



挨拶する河野学長

第1部

- ・みえ・花しょうぶサミット各構成団体の事務局による取組発表

第2部

- ・グループワーク(ワールド・カフェ方式で学生が3回移動)
 テーマ：「若者が働きたくなる三重県創り」に沿った意見交換
 - ・採用活動でPRすべき企業情報
 - ・若者が働きやすい職場環境
 - ・「三重に暮らす」「三重で働く」魅力(人口減少対策)
- ・グループワーク発表(団体・学生)



挨拶する笠原教授



挨拶する坂井課長

※みえ・花しょうぶサミット参画団体

- ・三重県中小企業レディース中央会
- ・JAみえ女性連絡会議
- ・三重県漁連女性部連合会
- ・三重県商工会女性部連合会
- ・三重県商工会議所女性会連合会
- ・三重県経営者協会女性懇話会



グループワーク風景

内定者向け講習会



内定者向け講習会風景

2月8日(木)アスト津 4階「研修室A」において、「内定者向け講習会」を今春入社予定の学生を対象に、6社14名の参加者で開催しました。

近年は、新卒採用が企業にとって厳しさを増しています。一方では学生にとっては、売り手市場で内定率が高水準で推移しております。このような中、企業にとっては内定辞退を防ぐ為、内定から入社までの期間をフォローしていく必要があるものの、全体的にはあまり行われていないのが実情であります。

そこで、入社まで残り約2ヶ月のこの時期に「働く」ということを理解し、(学生の)入社までの不安を取り除き、残りの期間で身に付けて欲しい事等をグループワークを通してマスターしてもらう内容で行っております。

参加者の皆さんはグループワークでは、初めは緊張していましたが、後半は活発に意見交換が行われました。また、「社会人になることを実感することができ、身が引き締った」、「改めて社会人として自覚を持つと思うようになった」等の多くの声をもらいました。

(内容)「安心して入社式を迎えるために」

- ・ 社会人としての心構え
- ・ 社会人基礎力(主体性、シンキング力、協働の姿勢)
- ・ 入社前後の悩みへの対処法等をグループワークを通して学ぶ

講師：名古屋経済大学経済学部教授 キャリアセンター長 大黒 光一 氏
(元リクルート就職ジャーナル編集長)



講演する大黒講師

三重経協ビデオライブラリー (MVL) 事業終了

「三重経協ビデオライブラリー(MVL)」は当協会40周年(昭和61年)記念事業として発足し37年間継続してまいりました。しかしながら近年はオンデマンドやeラーニングが普及し、各々がいつでも何処でもパソコンやスマホ、タブレットで簡単に視聴・研修できる時代となり、郵送によるMVLの利用もほぼなくなりました。

当協会もこれに対応すべく既存のMVLを令和5年3月31日で発展的解消し、教育用ビデオに力を入れているPHPと契約をし、会員サービスの一環として三重経協全会員様に無料にてオンラインで研修できる「三重経協ビデオアーカイブス(MVA)」を令和5年7月1日から立上げております。従業員様にはID・パスワード等をご周知して頂ければ、職場やご自宅でもスマホやパソコンからご視聴いただけるようになっております。(MVA視聴の場合は経協会員様限定のパスワードが必要です。)

それに伴い、MVLとしては最後となる令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の会計監査を令和6年3月7日(木)に監事会社2社(マクセルクレハ(株)様・三交興業(株)様)にご訪問させていただき、行いました。

つきましては、最終残高は本会計の雑収入とさせていただきます。

最後になりますが、これまでMVLの委員長はじめ、監事・運営委員・特別会員様の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

今後は「三重経協ビデオアーカイブス(MVA)」を是非ともご利用・ご活用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。尚、MVAにつきましてご不明な点は事務局までご連絡ください。



マクセルクレハ(株)様にて



三交興業(株)様にて

※監事2名 マクセルクレハ(株) 人事総務部長 藤田 行哉 様
三交興業(株) 取締役総務部長 藤田 尚史 様

中部経協三県連携事業

新入社員フォロー研修第3回「2年目社員へのステップアップ」



研修風景

3月8日(金) アスト津 5階「ギャラリー1」において、新入社員フォロー研修第3回「2年目社員へのステップアップ」を参加者36名で開催致しました。

講師は前回同様(株)ソ・ラボ 代表取締役の山田将史氏をお迎えし、前半は、以前研修した社会人基礎力の振り返りを行いました。その後、入社して今までの自分を振り返り、モチベーションが上がるきっかけとなった時期、モチベーションが下がるきっかけとなった時期、

その上下するきっかけとなった出来事を記入して、ペアになりお互いでフォローし合いました。また、事前に参加者の上司・先輩から記入して頂いたアンケートを基に、自己評価し、出来ている点、改善点の要因・原因を記入し、他者評価を含めて「自分の強み」「改善点」を記入しました。後半、課題発見力を鍛える為に、「あるべき姿(理想像)を追求する姿勢」「根本原因を追究する姿勢」を学び、ロジックツリーを使って実践しました。ロジックツリーの3種類の中で、Why ツリー(問題の原因を考える)を2つの例題を使ってグループワークを致しました。また、自分自身の課題についてペアでロジックツリーを使って補完しました。次に問題解決シートと行動目標を記入し、最後に理想の2年目までに必ず身に付けること・習得すべき業務スキルを記入して終了となりました。新入社員が入社してくるまで残り3週間となり、そろそろ1年生の気分から脱して2年生となる意識付を行い、新入社員から憧れる先輩となって、良き相談相手となり、先輩・上司にとって「人在」からステップアップし、役に立つ「人材」へ転換する内容の研修でありました。

■ 研修の目的

①半年の振り返り ②シンキング(課題発見力、計画力、創造力)

ルール ・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する(聴く、姿勢)

今日を素晴らしい1日にするために

- ・積極的に!「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること!
- ・メモをする ・シェア(共有)する



講義する山田講師

階層別研修第3回「管理者実践強化講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

3月18日(月) プラザ津 3階「紅葉の間」において、階層別研修第3回「管理者実践強化講座」を16名で開催しました。

講師は前回同様(株)ヒューマンブレインアソシエイツ 取締役会長の稲垣正己氏をお迎えし、第1回目、第2回目の振り返り(特に自分のタイプ、パラダイムチェンジ、コミュニケーションスタイル、OJT等)を行いました。その後、職場でOJTを進めていく中で、人との関わり合い、コミュニケーションが上手くいっていないこと(問題点)をパラダイムチェンジシートに記入し、各グループ内で共有しました。次にパラダイムチェンジシートを展開してグループ内で深掘を行いました。また、対面影響力の強化の決め手である2種類の能力「アビリティ」(IQ)と、「コンピテンス」(EQ)のうち、今回はEQ診断(感情能力)を行いました。診断後、EQグラフに落とし込みの解説をし、最後にリーダーシップ実習(集団決定「コンセンサス」【全員が納得する話し合い】)の演習を行い、各グループで活潑な話し合いが行われました。その結果、個人で考えるより、グループで他の人の意見・考えを聴き話し合うことで、生産性が向上することとなるということを学んで頂きました。今回が最終回となり、約7ヶ月の研修ではありましたが、参加者の管理者としてのパラダイムチェンジが図られました。



講義風景

■ 主なプログラム

- ・第1回目、第2回目の振り返り
- ・対面影響力の強化
- ・パラダイムチェンジシート
- ・EQ診断
- ・上手くいっていない問題点
- ・集団決定「コンセンサス」(仕事に対する動機)



講義する稲垣講師

令和6年 死亡災害ゼロ



アンダー2,000みえ推進運動

三重労働局は、

死亡災害の撲滅 死傷者数2,000人未満

を目指し、労働災害防止対策を推進します

重点事項

○ 重点災害

行動災害「転倒」「腰痛」

墜落・転落災害

機械災害

「はさまれ・巻き込まれ」
「切れ・こすれ」

交通労働災害

高年齢労働者の労働災害

○ 重点業種

製造業

建設業

道路貨物運送業

小売業

社会福祉施設

リスクアセスメント・安全衛生活動の推進
～ P D C A サイクルで労働災害を未然防止！ ～

三重労働局 ・ 労働基準監督署

アンダー2000みえ推進運動特設ページ

アンダー2000みえ推進運動

検索





新会員の紹介

ソレイユ経営法律事務所

事業内容 弁護士
 代表者 弁護士 澁谷 郁子
 所在地 四日市市西浦1-1-7
 千元ビル3階
 電話 059-350-2551
 F A X 059-350-2552
 ホームページ [http:// www.soleil-mlo.jp/](http://www.soleil-mlo.jp/)



新規会員のご紹介を
 お願いします



三重県経営者協会は
 (一社)日本経済団体
 連合会の地方組織とし
 て、県内企業の発展と
 地域社会に貢献し、グ
 ローバルな時代に対応
 した会員へのサービスの
 向上を行っております。

今年度も当協会の一層の発展のために、組織の
 拡大を目指しておりますので、ご入会いただける
 企業等のご紹介を会員皆様をお願い致します。

ご一報いただきましたら速やかに訪問し、ご説
 明をさせていただきます。

担当：事務局次長 中村 和仁
 電話(059-228-3557・3679)
 E-mail info@miekeikyo.jp

れんらく・つうしん

令和6年度会員総会

日時 令和6年6月7日(金) 14:00~16:00
 場所 三重県総合文化センター レセプションルーム(1階)
 津市一身田上津部田1234番地 電話 059-233-1111
 (近鉄津駅下車、西へ徒歩20分、津駅より路線バス有)
 駐車場はございます。

会員総会 14:00~14:45
 記念講演 15:00~16:00

※詳細につきましては後日ご連絡致します。

～失業なき労働移動の実現をめざす 再就職・出向の専門機関～

雇用調整等のニーズのある **1** 企業様（送出）と
雇い入れご希望の **2** 企業様（受入）との間で
人材マッチングサービスを**無料**で提供しています。



 公益財団法人 産業雇用安定センター 三重事務所

TEL 059-225-5449 FAX 059-221-6197

www.sangyokoyo.or.jp/



業務日誌
2024.1.3

事業名	とき	ところ
(一社)日本経済団体連合会「地方業種別団体情報連絡会」(ZOOM会議)	1/26(金)	三重経協事務局
みえ・花しょうぶサミット	2/ 1(木)	皇學館大学
内定者向け講習会	2/ 8(木)	アスト津
第71回三重労使会議	2/15(木)	プラザ洞津
労管定例会議&2024年春季労使交渉セミナー	2/27(火)	プラザ洞津
三重経協ビデオライブラリー(MVL) 監査(最終)	3/ 7(木)	マクセルクレハ(株)、三交興業(株)
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第3回「2年目社員へのステップアップ」	3/ 8(金)	アスト津
中部経協三県連携事業 階層別研修 第3回「管理者実践強化講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～	3/18(月)	プラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

ホームページ

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

E-mail

FAX 059-228-3710

http://miekeikyo.jp

info@miekeikyo.jp

2024年4月25日 発行
発行人/三重県経営者協会